

別記様式（第6条関係）

会 議 録

会 議 の 名 称	第 18 回岩出市子ども・子育て会議		
開 催 日 時	令和2年2月20日（木）	開会	10時00分
		閉会	12時00分
開 催 場 所	岩出市総合保健福祉センター 3階 視聴覚室		
議長（委員長・会長） の 氏 名	桑原義登（会長）		
出席者（委員） の 氏 名	桑原義登（会長）、金川めぐみ（副会長）、中内督貴、高松千珠、岡本公博、土生川覚弥、福田朱実、亀岡加津美、松本千賀子、村田実、前芝洋一		
欠席者（委員） の 氏 名	岩橋美奈、山口理絵、帽子律子、林真世、湯川 佳彦		
説明等のために出席した者の氏名等	(株)ジャパンインターナショナル総合研究所 中嶋 敏弘		
事務局職員 の 職 氏 名	地域福祉課長 長倉喜佐子、生活支援課長 井辺健浩、教育総務課長 南智明、子ども・健康課長 広岡範之、子ども・健康課副課長 福田勝夫、子ども・健康課主事 石橋雄基		
会 議 事 項	議題		
	①令和2年度教育・保育施設及び学童保育入所(園)状況		
	②第2期岩出市子ども・子育て支援事業計画策定の素案について ③その他		
会 議 の 経 過	別添のとおり		
会 議 資 料	① 会議次第 ② 資料1 令和2年度 教育・保育施設入所状況 ③ 資料2 令和2年度 学童保育入所状況 ④ 資料3 第2期岩出市子ども・子育て支援事業計画素案 ⑤ 資料4 岩出市子ども・子育て支援事業計画 修正内容一覧		
会 議 録 の 確 定	確定年月日		記名押印
	令和2年 3月19日		役職名 会長 桑原 義登 ㊟

会議の経過

議題・決定又は確認事項等
<p>1. 開 会</p> <p>2. 議事</p> <p><u>①令和2年度教育・保育施設及び学童保育入所(園)状況</u> ＜資料「1. 令和2年度教育・保育施設入所状況」及び「2. 令和2年度学童保育入所状況」に基づき、事務局より説明＞</p> <p>(桑原会長) ご意見、ご質問をどうぞ。(保育士の確保など) 人の方は大丈夫か。</p> <p>(事務局) どこの施設も人が不足しており、確保に苦慮している。来年度からは子育て支援員を有効的に活用しようということで、予算化し、朝夕の時間帯にクラスに入っていて、加配保育士を他のクラスに回せるような取組を進めている。</p> <p>(土生川委員) 幼稚園の3歳児が昨年より増えている。保護者の状況を聞いて、それなら(保育所ではなく)幼稚園でも行けるのではと市で声をかけていただいたおかげで、(その分、保育所の)待機児童がいなくなった。働くから幼稚園は無理と考える保護者が多いので、引き続き窓口で、「状況によっては幼稚園でも行ける」と説明していただくと、幼稚園としても助かるし、少ない保育士でやりくりできる。引き続きよろしくお願ひしたい。</p> <p><u>②第2期岩出市子ども・子育て支援事業計画策定の素案について</u> ＜事務局より資料「3. 第2期岩出市子ども・子育て支援事業計画(素案)」及び「4. 岩出市子ども・子育て支援事業計画 修正内容一覧」に基づいて、事務局より修正点等を説明(途中まで)＞</p> <p>(桑原会長) ここまでのところで、お気づきの点は。</p> <p>(土生川委員) 養育支援訪問事業について、「児童虐待の早期発見につなげるため」とストレートに書くと、訪問を受ける側がひいてしまうのではないか。それ以外にも相談に乗るということを</p>

追記したほうが、ソフトな感じで受け入れやすいのではないか。

(金川副会長)

施策の6番(地域子育て応援環境促進事業)に多言語での発信について書いていただいて、たいへんよかったと思う。紀南に出張した際、高校の夜間講座で学び直し教室があり、そこに20代から40代の外国人が多いという話を聞いた。というのも、日本人と結婚し、子育てしている外国人の保護者が、幼稚園や小学校からもらうプリントの内容がわからないため、次の日に何を用意したらいいかもわからない。夫が帰ってきてから聞く。それではだめなので、自分で勉強したいというお母さんが多いらしい。学校現場では気をつけているとは思いますが、子育て支援サイト以外でも、多言語化を意識する必要がある。

(松本委員)

施策9の子育て相談事業について、「誤った子育て感を持っている保護者」という表現を適切な言葉に変えていただきたい。誤っているかどうかは、わからないので。また、海外の方の子育てで、言葉の問題と合わせて海外の方への理解がないと難しい。文化習慣が違うので、例えば保育園で「これが当たり前」と言っても、海外の方にとっては当たり前ではない。すぐにどうということではないが、そのような視点も今後、入れていただければと思う。

(桑原会長)

各委員のご指摘の点を、ご検討いただきたい。

(事務局)

ご意見を元に協議し、修正があれば会長と副会長に一任ということでよいか。

<異議なし>

<事務局より引き続き、残りの修正内容を説明>

(桑原会長)

ご意見、ご質問をどうぞ。

(土生川委員)

施策87の文章(「障害児を持つきょうだいに対して、優先して発達相談を受けられるよう配慮します」の部分)が、意味を読み取りにくい。もう少しわかりやすい表現はないものか。また77ページ(地域子ども・子育て支援事業の量の見込み)の一時預かりの数値は、

幼稚園に連絡をいただいて出た数字ということか。

(事務局)

令和元年度の数値は幼稚園2園の合計で、令和2年度以降は、その実績値にニーズ調査の結果を掛け合わせたものとなっている。

(土生川委員)

預かり保育は無償化の対象になっているので、市としてはどれだけの数があったか把握している。幼稚園では無償化の対象外でも預かっているケースがあるので、園に直接聞いた上で計上してもらえると、より正確だと思う。

(金川副会長)

きょうだい児については、前回の会議で私が話をしたために、入れていただいたのだと思う。ただ、その人たち（きょうだいに障害児がいる子ども）が発達相談を受けられるようにというわけではなく、周囲が理解してほしいということだ。例えばきょうだいに障害があるということのカミングアウトできなかつたり、親から期待や不安を受けたりするのがきょうだい児の特徴だ。周囲の理解とピアサポートが必要とされている。この書き方は誤解を与えと思う。

(桑原会長)

むしろ啓発事業に当たるのではないか。

(岡本委員)

施策51のきのくに共育コミュニティ推進事業について、現在行われているのは根来小学校だけだ。他の小中学校ではコミュニティスクールが今年度から始まっており、それを活用して、ということならこの書き方で当てはまるが、共育コミュニティ推進事業とある限りは、文言と中味が合っていない。タイトルをコミュニティスクールに変えると、修正後の表現と合致する。

(桑原会長)

他にはいかがか。

<委員から発言なし>

今日で最後の会議になるので、本日皆様からいただいた意見を事務局に協議いただき、最終的に会長、副会長が素案を最終確認するという形で本会議の総意ということでよろしいでしょうか。

また、委員の皆様も後で気が付いた点があれば、事務局に連絡をお願いします。

### ③その他

(事務局)

素案に委員名簿がある。皆さまの所属とお名前の掲載をご承諾いただきたい。また、間違いがないかご確認ください。

(桑原会長)

すばらしい計画の策定ができた。計画ができて地域の方が知らない場合があるので、委員の方も地域の中で啓発をお願いしたい。施策を運営していく上で、ぜひ連絡をとり合えるような状態で活用していけたらよいと思う。よろしく願いいたします。

### 3. あいさつ

(前芝委員<生活福祉部長>)

皆さまからいただいたご意見を参考にして、第2期計画を策定し、長期総合計画とともに、来年度からの岩出市の子育て支援の基本計画と位置づけ、活用させていただきたい。2年間にわたり、市の子育て支援のために貴重なご意見を頂戴したことを、厚くお礼申し上げます。頂戴したご意見を市の子育て支援に活かせるよう、職員一同がんばっていく。引き続き、ご支援、ご協力をお願い申し上げます。本当にありがとうございました。

### 4 閉会